

## Episode 4

## SHOOTING-1

## 「暑かった…この夏、一番暑いと思ったのがあの日ですね」

「男って1回ぐらいああいいう写真撮っちゃうもんじゃないですか」

シュ ロケ地には何時頃着いたんですか？  
 岡戸 11時前に着いた感じですよ。  
 宮原 着いたらまず、暑いねって。  
 岡戸 暑かった…この夏、一番暑いと思ったのがあの日ですね。赤間君が汗かき過ぎて、拭いても拭いても汗が噴き出すっていう。

宮原 機材も暑さにやられて…コンビニでパックの氷いっぱい買って、みんなのために使おうってなってたんですけど、半分はカメラのために使いました。「暑い暑い」の表示が出て、やばいなって。暑さととの戦いでした。でもやっぱり暑くないと。

小宮 CD 夏にならないです。

宮原 夏になんないです。

岡戸 夏始まるぜって話ですもんね（笑）

シュ バス待合所ではどのぐらい撮影を？

宮原 昼間の設定で日照がすごく影響してくるので、17時過ぎるとちょっと厳しいと。3～4時間程度で終わりました。

CD あまりにもつなぎが上手くて、オールテイクワン30分で撮ったんじゃないかと思いました。

宮原 先ほども言いましたが演劇が軸になると思っていて、5分の回しを5回ぐらいしてもらいつつ、途中で押さえというか、そういうカットも撮りつつという感じでした。

シュ スクショされたカズヒデの自撮り画像について詳しく（笑）

宮原 赤間君に、面白いのちょうだいって。何枚かくれたので厳選して、これは面白いというものを使いました。

シュ スマホ持って自撮りしてるのとかめっちゃめっちゃ面白かったです（笑）

宮原 赤間君やばいなって思いました。あれって何の写真だっけ？

岡戸 いやー男って1回ぐらいああいいう写真撮っちゃうもんじゃないですか。

宮原 ホントのリアルですから。

岡戸 視線がスマホに向いてて（笑）

シュ 赤間さんって、とっても表情豊かな役者さんですよ。この口の曲がり具合、さすが演劇の人だなって。

宮原 この顔はなかなかできない（笑）



シュ カズヒデは、最悪な展開なのに悲壮感が微塵も出てないのいいなって思うんですが、キャラ設定としてはどんな感じだったんですか？

岡戸 まあ、マッチングアプリとかやってる普通な若者で。マッチ度が高い人と付き合いたいなと理想は持ってるんです。本来マユミとは合っていないんだけど、なんかのイベントのはずみで付き合ってたみたいなの…付き合えたら付き合っちゃうことってあるじゃないですか。そんな過去も持ちつつ、次はちゃんとした恋愛をするんだっていう感じですね。

宮原 キャラ以外のことだと、元々古典的コメディの構成がめっちゃ好きだったんです。「どたばたコメディ」のジャンルって、トラフルから逃れようとする人と、相手とセックスするために色々動く人というのが、二大要素みたいで。そんな感じでできないかと話してました。

シュ 確かに、あの状況からどうにか逃れようとしてますね（笑）

岡戸 根底にはアイちゃんとセックスしたいっていう気持ちも持ってるから、二大要素がどちらも入ってるって、言えなくもないんです。

宮原 ちょっと間違えたら悲壮感が出るかもしれないところですが、そこを突っ切ってやれた赤間君はすごいなって思いました。

シュ 本番では撮り直しとかもなく？

宮原 なるべくワンテイクでやりたかったんですけど、自分の欲しい表情や動きが来るのを、カメラを構えて時間ギリギリまで粘りました。

シュ 赤間さん、アドリフとかも入れてたような気がしたんですが。

岡戸 赤間君はその日が初めてで、色々焦ってました。脚本では、女性遍歴を暴露された時「彼女たちは友達だから」っていうセリフを入れてたんです。そこを勝手に英訳して「彼女たちは全員マイフレンド」って（笑）

シュ セリフを朗読しつつ演じてるので、本当に焦った感が出てましたね。

岡戸 「マイフレンドオ？」って、何で「？」が入ってるんだろって（笑）

CD 突貫工事の演技のせいとか、焦りのリアリティが出てましたね。

宮原 オチのセリフ後の振り向きざまの「やべー」って顔。あれは強すぎる。

宮原 欲しい表情をいくつか作ってもらって…一番面白い顔やって？みたいな。

岡戸 脚本では、去っていくマユミを呆然と見つめる二人ぐらしか書いていなくて。へーってなりました。そこで一発面白パンチ作るんだなと。

宮原 脚本を読んだ時、あそこが一番スパイスが効いているなど。一番のオチにしたいという思いがありました。



「勝手に英訳して

『彼女たちは全員マイフレンド』って（笑）」